

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	法学 I	
科目基礎情報							
科目番号	0059		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般科目		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	霞信彦ほか『法学概論』（慶應義塾大学出版会、2015年4月）						
担当教員	児玉 圭司						
到達目標							
1. 「法」にまつわる論点と、その歴史的な展開について理解する。 2. 「法」を扱う上での重要な原則・語句・技術について理解する。 3. 裁判員制度の概要と、裁判員の役割について理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	1. について理解している。		1. について概ね理解している。		1. について理解できていない。		
評価項目2	2. について理解している。		2. について概ね理解している。		2. について理解できていない。		
評価項目3	3. について理解している。		3. について概ね理解している。		3. について理解できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
(E) (F)							
教育方法等							
概要	1. 私たちが社会生活を営む上で必要とされる法的知識（基本原則など）や論理的思考を身につける。 2. 「憲法」をはじめとする代表的な法典について、その成り立ちや理念、基本原則を学ぶ。 【Course Objectives】 This course is designed to provide students with 1. acquisition of legal knowledge and logical thinking needed for social life. 2. learning the structure, ideals and basic principles of the Constitution and other legal codes.						
授業の進め方・方法	1. 講義は配布するプリントに沿って進める。講義では学生に対して質問への応答を求めるほか、理解度確認のための小テスト・レポートを課す。 2. 視聴したDVDについての感想文の提出や、時事問題等に関する家庭学習を求めることがある。 【学習方法】 1. 講義中に理解できなかった部分は、配布プリントや教科書・参考書を用いて復習するほか、講義後の質疑時間などを活用してフォローすること。						
注意点	1. 前期・後期とも、中間および期末試験の結果によって評価する（80％）。 2. 講義中に実施する小テストや、講義時間外に課すレポートの内容も、評価に加味する（20％）。 3. 上記の到達目標に基づき、各項目の理解についての到達度を評価基準とする。 【担当教員】 教 員 名 児玉 圭司 研 究 室 A棟3階 (A-302) 内線電話 8908 e-mail: kodamaアットマークmaizuru-ct.ac.jp（アットマークは@に変えること）						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		2週	法とは何か？		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		3週	法思想の歴史		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		4週	近代法の成立と発展		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		5週	日本における近代西洋法の受容		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		6週	法源／日本における成文法①		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		7週	日本における成文法②		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		8週	前期中間試験		講義前半で扱った内容を理解する。		
	2ndQ	9週	日本における不文法		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		10週	法の分類		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		11週	法の解釈と適用		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		12週	日本の裁判制度		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		13週	裁判員制度（映像視聴）		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		14週	技術者と法①		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		15週	技術者と法②		「授業内容・方法」に示した事柄について理解する。		
		16週	前期期末試験返却、到達度確認		講義後半で扱った内容を理解する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民	民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	10	0	70
専門的能力	20	0	0	0	10	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0